令和８年９月１３日開催

自治会･町内会まるごとミーティング　報告書

主催：守谷市自治会連絡協議会

今回は、６月に自治会・町内会の区長を対象に、事前アンケートを行いました。その結果をもとに、前半では、北園町内会の取組事例の紹介をしていただき、後半は、テーマ別にグループに分かれて、情報交換を行いました。

前半：事例紹介

北園町内会「町内会活動の小さな工夫と大きな成果」



①　近隣町内会との連携による行事運営の効率化

【現状の問題】

町内会会員の高齢化や輪番制で選出された役員の高齢化。このような状況で単独での親睦イベントの企画運営が難しくなった。

【工夫したこと】

イベントを近隣３町内会と連携して運営することにより、効率的にイベントを進めることができた。また、これにより４町内会間の親睦を深めることができ、更には地域の安全対策や啓発活動等を協力して進めることができるようになった（例、信号機の設置、歩道の拡張など）。

②　大切な情報を確実に共有するための手段の工夫

【現状の問題】

町内会会員に知ってもらいたい情報を確実にお知らせしたいが、チラシ等の回覧だけでは伝わらない。

【工夫したこと】

月１回の役員会の資料に、会員に知ってもらいたい内容や１か月間の専門委員、役員の活動内容等を記録して、役員会で説明をする。年間スケジュールやイベントの情報等を十分把握したうえで、資料の準備をすることが大切。役員会の日程や訃報などの急なお知らせについては、役員に一斉メールにて周知を行う。

③　継続性のある町内会活動のための役員体制について

【現状の問題】

輪番制の班長が１年のみで終了となると、町内会活動に慣れてきたころに終わるのがもったいない。

【工夫したこと】

１年の輪番制の班長については、２年目は「防災委員」か「防犯委員」として活動を継続する仕組みをルール化した。役員からすると大変ではあるが、更に町内会活動を知ってもらうことやスムーズな役員交代を行うことができるようになったことは、中長期的に見ても有効だと感じる。

質疑応答

質問１

役員会で取りまとめた資料を回覧した後、班長から各家庭への情報伝達、フォローはどのように行っているのか。

回答１

資料を読めば内容が理解できるよう、必要な情報は全て記載し回覧している。また、１年目の班長は判断に迷うことが多いため、疑問があれば区長や副会長など本部役員が相談に対応する仕組みとなっている。電話・メール・直接説明などで回答し、役員全体で情報を共有・フォローしている。回覧はただ回すだけでなく、誤解を防ぎ正しく伝えるために、声出し・声かけで確認をお願いしている。

質問２

元々住んでいる住民と新しく転入してきた住民がいる中で、新しい町内会を作ったり巻き込んだりする際に、古い町内会側へどのように声をかけたのか。

回答２

元々は一帯が北園町内会であったが、区画整理事業によって一部区域が再編・分離した歴史があり、古くから住んでいる高齢の世代や、駅近くなどに新しく家を建てた若い世代など、多様な世代が混ざり合った町内会構成になっている。

質問３

近隣４町内会での連携や合同のイベントは、どのようなきっかけで話し合いや協力が進んだのか。

回答３

区画整理の際、新地区には町内会組織がなかったため、区画整理事務局と北園町内会が協力してソフト面でのまちづくりを進めた。また、新たに住み始めた住民と徐々に交流を図る中で、合同イベントや町内会設立支援を共に行ってきた経緯がある。

質問４

班長をやった後、２年目で防災委員・防犯委員を務めるルールについて、反対意見や難色を示す声はなかったか。

回答４

反対意見はなく、快く引き受けてくれている。また、「高齢等の理由で、班長が出来ないから退会したい」という相談があった場合は、班内でフォローや役員の免除をするなど柔軟に対応することで、退会を防いでいる。

質問５

北園町内会の一部が松並東町内会へ編入した際、会費や基金などの金銭トラブルや運営上の問題はなかったか。

回答５

区画整理事業に伴う編入であり、新町内会の会則も北園町内会のものを参考に作成したため、金銭面や運営上の問題は特になかった。住民側で大変だった点としては、町内会編入に伴う住居表示・住所変更の手続きであった。

後半：情報交換会



　後半の情報交換会では、「防災」、「防犯」、「ごみ問題」、「役員のなり手」などのテーマに基づき、７つのグループに分かれて話し合いを行いました。
　最後に、代表の方数名から、特に話題になった内容や全体に紹介したい事例を発表していただきました。

グループA　テーマ：防災①

- 具体的な解決策や取組の話が出たわけではないが、細かいノウハウを聞くことができた。また他の自治会も同じような悩みを抱えていると実感できたことが最大の収穫だった。お互いに悩みや相談を打ち明けれることができたのが良かった。

グループB　テーマ：防災②

- 役員が１年交代で不慣れなため、各自治会における防災倉庫の中身や防災訓練の実施状況・工夫点について情報交換を行った。また、カセットコンロなどの備蓄品について、期限経過時のメーカー引き取り対応などの事例を聞くことができた。

グループC　テーマ：防犯

- 市内での自転車盗難件数が多いことや、自動車盗難の現状や問題が共有された。また、盗難に遭う自転車の多くが無施錠であるため、その対策として、施錠の徹底や不在時の対策といった個人の自己防衛が最も基本的かつ重要であると結論付けられた。

グループD　テーマ：ごみ問題

- 自治会未加入者やアパートの住民によるごみ出しマナーや不法投棄が共通の悩みとして挙げられた。対策として、自治会からアパートの管理会社を通じた注意喚起のほか、不法投棄の抑止策として、ダミー防犯カメラの設置などのアイデアが共有された。

グループE　テーマ：役員のなり手・デジタル活用ほか

- デジタルツール運用の課題として、管理者が明確でなく、担当が役員から抜けてしまうと運用が止まってしまう。対策として、デジタルツールの管理者の選出や、デジタルツールの運用としてLINEのオープンチャット・Google Driveなどの活用といった事例が挙げられた。
- 市を巻き込んだデジタル活用の仕組みづくりという意見も挙げられた。

グループF　テーマ：役員のなり手・会費ほか

- 役員の任期として、単年交代だけでなく、班長から役員へと複数年単位の役員体制とすることで、ノウハウや経験が継続できるメリットが紹介された。
- 区長の交代制では、なり手が不足する場合、規約に推薦制や指名制を盛り込んで選出している事例が共有された。
- 会費について、自治会の規模にかかわらず、年間2,000円から5,000円程度と幅があり、また、地域の事情に応じた会費の使途について理解ができた。

グループG　テーマ：役員のなり手・行事の継続性ほか

- 役員・区長のなり手の不足を中心に、ごみ集積場の管理、会費のあり方、近隣町内会との付き合い方など、多角的な課題を議論した。また、各地域で環境や年代構成、歴史的経緯が異なる中で、普段話せない悩みや課題を打ち明け、情報共有できた貴重な機会となった。

